

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	環境戦略推進事業			事業番号	010-055
担当部署名	環境	局	カーボンニュートラル推進	部	環境政策

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(3) ゼロカーボンシティの推進		
			有	取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築				
		寄与するKPI	有・無	指標名	市域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(2)つくる責任つかう責任	ターゲット	12.2,12.5		
			有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量				
		有	現状値	14.1%(2017年度)	目標値	19.0%(2025年度)			
			有	現状値	643g(2019年度)	目標値	638g(2023年)		
2	関連計画	堺環境戦略							
3	事業開始年度	令和 3 年度			点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)								

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、環境技術を有し海外展開意向のある市内事業者					対象数	単位	
							823,731	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺環境戦略に掲げる「全ての人々が幸せ（Well-being）に暮らす持続可能な環境イノベーション都市」の実現に向けて、ビジョンの発信、ナッジ等を活用した行動変容の促進、海外等他都市との連携強化など先導的な取組を推進することで、環境都市ブランドの構築を図る。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	○環境分野におけるナッジ手法の活用方策の検討・整理を行った。また、堺市環境行動デザインチームSEEDs（ナッジユニット）を組成し、環境施策におけるナッジ等の活用を進めた。							
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	○環境分野における国際都市間協力の推進に向けた基礎調査及び事業者との協議調整、海外都市との連携協議の実施に向けた調整を行った。							
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載								
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	コンサルタント事業者							
10	公民連携・協働事業								

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度	
	ナッジを活用した環境取組の実施 (累計)	件	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
			目標値	-	2	5	14	
			実績値	-	2			
			達成率	-	100%			
	当該指標を選定した理由	堺環境戦略で掲げる環境行動変容の推進を具現化するものであるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度は2件、令和4年度以降は単年度あたり3件の頻度で取組の実施を想定						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標			
	堺市環境行動デザインチームの活動 (会議)に参加した人数 (累計)	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
			目標値	-	50	104		
			実績値	-	44			
			達成率	-	88%			
	当該指標を選定した理由	会議開催等により、環境啓発におけるナッジ等の具体的な活用方策を検討するため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	2か月に1回の頻度で会議を開催し、1回あたり10人の参加を想定						

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	環境戦略推進事業	事業番号	010-055
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）			
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	0	12,538	8,230	19,133
13 財源内訳	国支出金				10,000
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源			12,538	8,230	9,133
14 人件費 (b)	0	0	12,300	12,300	12,300
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	0	24,838	20,530	31,433

事業費の内訳		（単位：千円）								
項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		R3	決算	R3			R3	決算	R3	決算
16 事業費内訳	ナッジを活用した環境行動変容促進	R3	決算	1,566	1,566		R3	決算		
		R4	予算	16,033	6,033		R4	予算		
	国際都市間協力の推進	R3	決算	5,973	5,973		R3	決算		
		R4	予算	3,000	3,000		R4	予算		
	その他（旅費、消耗品費など）	R3	決算	691	691		R3	決算		
		R4	予算	100	100		R4	予算		
		R3	決算				R3	決算		
		R4	予算				R4	予算		
	R3	決算				R3	決算			
	R4	予算				R4	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和2年度	令和3年度
17	①	ナッジを活用した取組の実施	件	-	2
	②	上記①にかかる年間経費	千円	-	1,830
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		915,000
備考（算出についての説明等）		②「上記①にかかる年間経費」には、堺市環境行動デザインチームの活動にかかる費用及び人件費を計上した。			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	令和3年度に組成した堺市環境行動デザインチームにおいて、ナッジを活用した取組を目標どおり2件実施した。単位当たり経費915,000円/件のほとんどが人件費であり、令和4年度以降は、令和3年度の経験やノウハウを活用し、より効率的・効果的にナッジを活用した取組を実施することで、費用対効果の向上に努める。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>○ナッジは単なる意識向上の取組ではなく行動変容を促すものであり、その効果については統計学的手法を用いて定量的に評価している。令和3年度に堺市環境行動デザインチームSEEDsにおいて実施した市業務のペーパーレス化の実験では、紙類のリサイクルボックスをダウンサイジングすることで約27%の追加的な印刷削減効果を生み出すことを確認した。今後、市域にナッジを実装する取組を進め、統計的な分析・評価手法を用いた頑健な検証により、基本計画2025のKPIである「市域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）」及び「1人1日当たり家庭系ごみ排出量」の達成に定量的に寄与する。また、堺環境戦略に掲げる将来ビジョン実現の基盤となる、市民の環境配慮型行動・価値観への変容を促進する。</p> <p>○環境分野における国際都市間協力の推進については、KPIの達成に直接的に寄与するものではないが、堺環境戦略において、SDGs未来都市として市域の枠組みを超えて世界的な環境問題の解決に貢献する観点から「公害克服経験や環境技術の強みを活かした国際都市間協力の推進」を施策に位置づけている。本取組では、環境省委託事業（脱炭素社会実現のための都市間連携事業）を活用し、最終的にはJCM（二国間クレジット）創出につながる民間プロジェクトの構築を図ることで、「国全体のCO2削減目標達成への寄与の定量化」「市内企業等の環境ビジネスでの海外展開（投資）」等の効果が期待でき、環境先進都市としての存在感や発信力の向上にもつながる。</p>